

第2回 豊岡市地域医療計画策定委員会議事録要旨

日時：2025年9月24日（水）14：00～15：30

場所：豊岡市役所立野庁舎 A会議室

注）本議事録要旨は、会議における発言内容の要点を整理・要約したものであり、逐語録ではありません。

・出席者（順不同）

賀嶋委員、武田委員、山崎委員、安田委員、前田委員、津禰鹿委員、小森委員、田所委員、土生田委員

・配布資料

次第、資料1～資料3、追加資料1～4

1 開会

事務局：開会宣言。

2 あいさつ

委員長あいさつの後、進行・資料確認を実施。

3 報告事項

- (1) 医科・歯科診療所向けアンケート結果について
資料1について説明
- (2) 訪問看護ステーション向けアンケート調査の実施状況について
資料2について説明
- (3) 人口動態及びレセプトデータの集計・分析状況について
資料3及び追加資料1について説明

4 意見交換

- (1) 報告結果を踏まえた計画の方向性（論点提示）
追加資料2～4について説明

I 人材確保

- 豊岡病院における奨学金制度活用医師の定着支援について、返済免除期間後の離職懸念に対し、面談・フォローの質や交流の場づくり（医師会の意見交換会等）の提案。
- 歯科衛生士の不足が顕著。兵庫県の歯科衛生士会でも通信制教育・地元実習などの施策を実施。
- 医療事務人材の確保難も指摘。子育てで夜間診療の応募なし。

II 承継・設備更新

- 今後数年で廃業リスクが見込まれるため、承継の相談会・相談窓口の整備の提案。

Ⅲ 在宅医療連携

- 看取り件数の把握方法に課題。加算実績のみでは実態が捉えにくいとの指摘があり、死亡場所（施設・自宅）の実数把握を次回に向けて整理するよう意見が出された。
- 通院支援として、デマンドバス等地域交通の整備について要望があった。

Ⅳ 多職種連携

- 時間の関係で詳細協議は次回以降へ

Ⅴ オンライン診療

- 地方では通院困難層の代替手段としての必要性に迫られている。
- コミュニティ拠点＋保健師常駐での遠隔支援など将来像を意見交換。

Ⅵ 救急適正化

追加資料３に基づいて、豊岡病院の救急外来ひっ迫について説明。

Ⅶ 市立診療所の今後

追加資料４に基づいて、赤字幅の拡大と診療所の将来像について説明。

Ⅷ 城崎・港地域の「まちの診療所」構想

市ではなく地域での運営の構想があることを説明。

5 その他

第３回（11/5（水）14:00～）・第４回（12/18（木）14:00～）の日程調整について事務局より案内。

9 閉会

副委員長閉会あいさつ